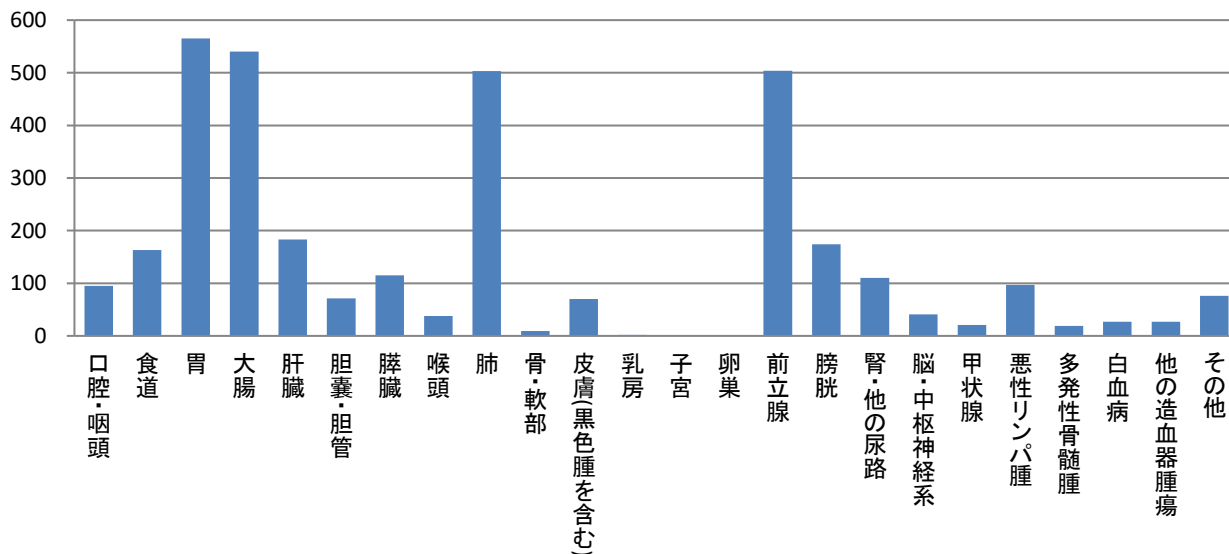


# 1. 性別・部位別登録数と割合

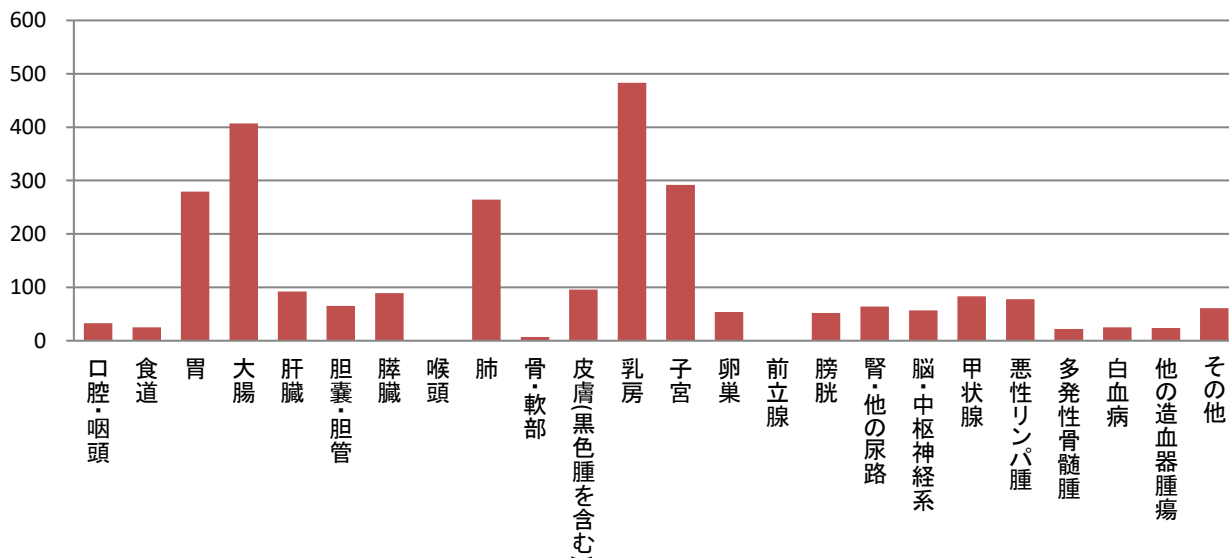
診断日: 2013年1月1日 ~ 2013年12月31日

登録数は、多い方から、男性では、胃、大腸、前立腺、肺、  
女性では、乳房、大腸、子宮、胃、肺の順となる。  
割合は、男性が57%、女性が43%で男性が多い。

### 部位別登録数(男性)



### 部位別登録数(女性)



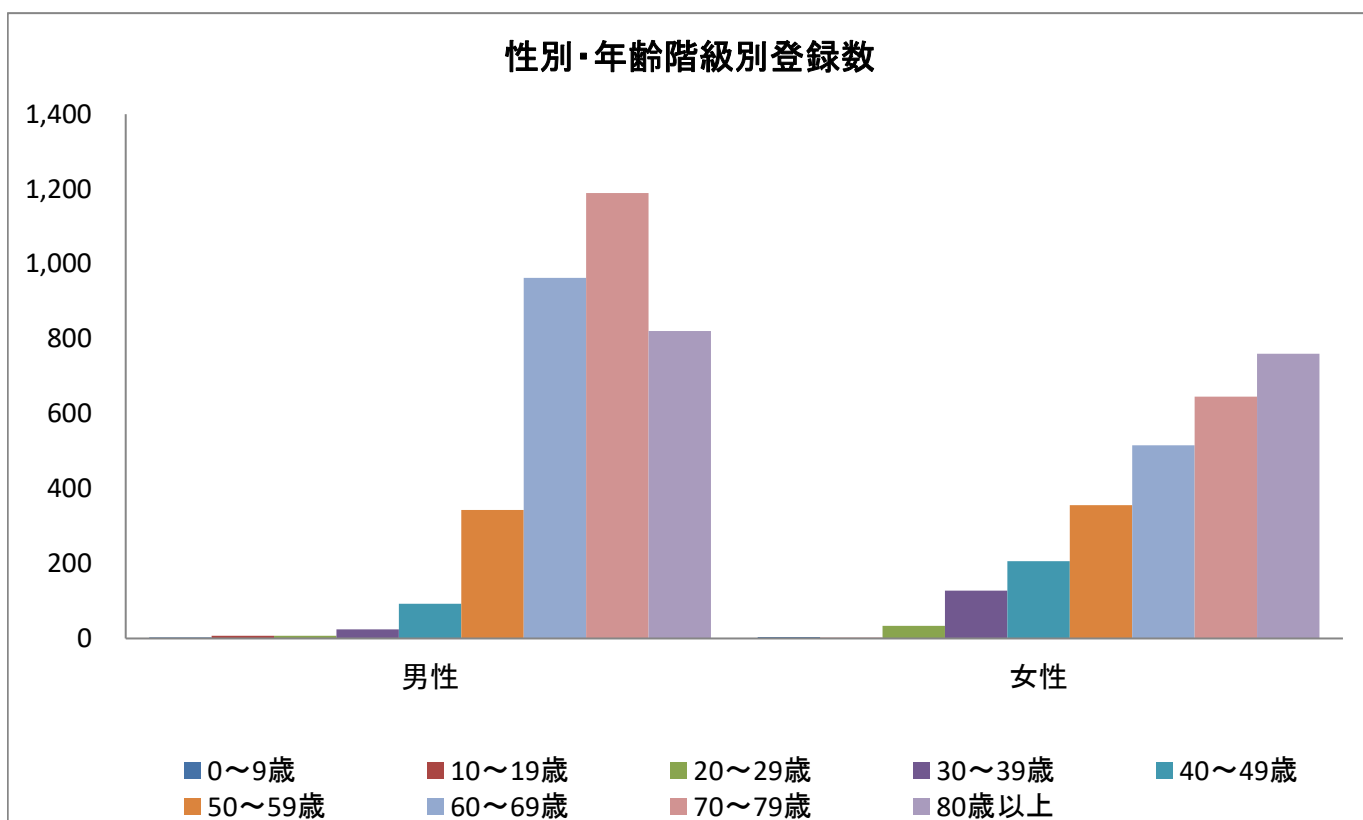
	登録数			割合		
	男性	女性	合計	男性	女性	合計
口腔・咽頭	95	33	128	74%	26%	100%
食道	163	25	188	87%	13%	100%
胃	565	279	844	67%	33%	100%
大腸	540	407	947	57%	43%	100%
肝臓	183	92	275	67%	33%	100%
胆嚢・胆管	71	65	136	52%	48%	100%
膵臓	115	89	204	56%	44%	100%
喉頭	38	0	38	100%	0%	100%
肺	503	264	767	66%	34%	100%
骨・軟部	9	7	16	56%	44%	100%
皮膚(黒色腫を含む)	70	96	166	42%	58%	100%
乳房	2	483	485	0%	100%	100%
子宮	0	292	292	0%	100%	100%
卵巣	0	54	54	0%	100%	100%
前立腺	504	0	504	100%	0%	100%
膀胱	174	52	226	77%	23%	100%
腎・他の尿路	110	64	174	63%	37%	100%
脳・中枢神経系	41	57	98	42%	58%	100%
甲状腺	21	83	104	20%	80%	100%
悪性リンパ腫	97	78	175	55%	45%	100%
多発性骨髄腫	19	22	41	46%	54%	100%
白血病	27	25	52	52%	48%	100%
他の造血器腫瘍	27	24	51	53%	47%	100%
その他	76	61	137	55%	45%	100%
合計	3,450	2,652	6,102	57%	43%	100%

## 2. 性別・年齢階級別登録数

診断日:2013年1月1日 ~ 2013年12月31日

男性では、60歳代と70歳代にピークが見られるが、女性では、加齢とともに増加する傾向が見られる。

	男性	女性	計
0～9歳	3	4	7
10～19歳	7	2	9
20～29歳	7	34	41
30～39歳	24	128	152
40～49歳	93	206	299
50～59歳	343	356	699
60～69歳	963	516	1,479
70～79歳	1,189	646	1,835
80歳以上	821	760	1,581

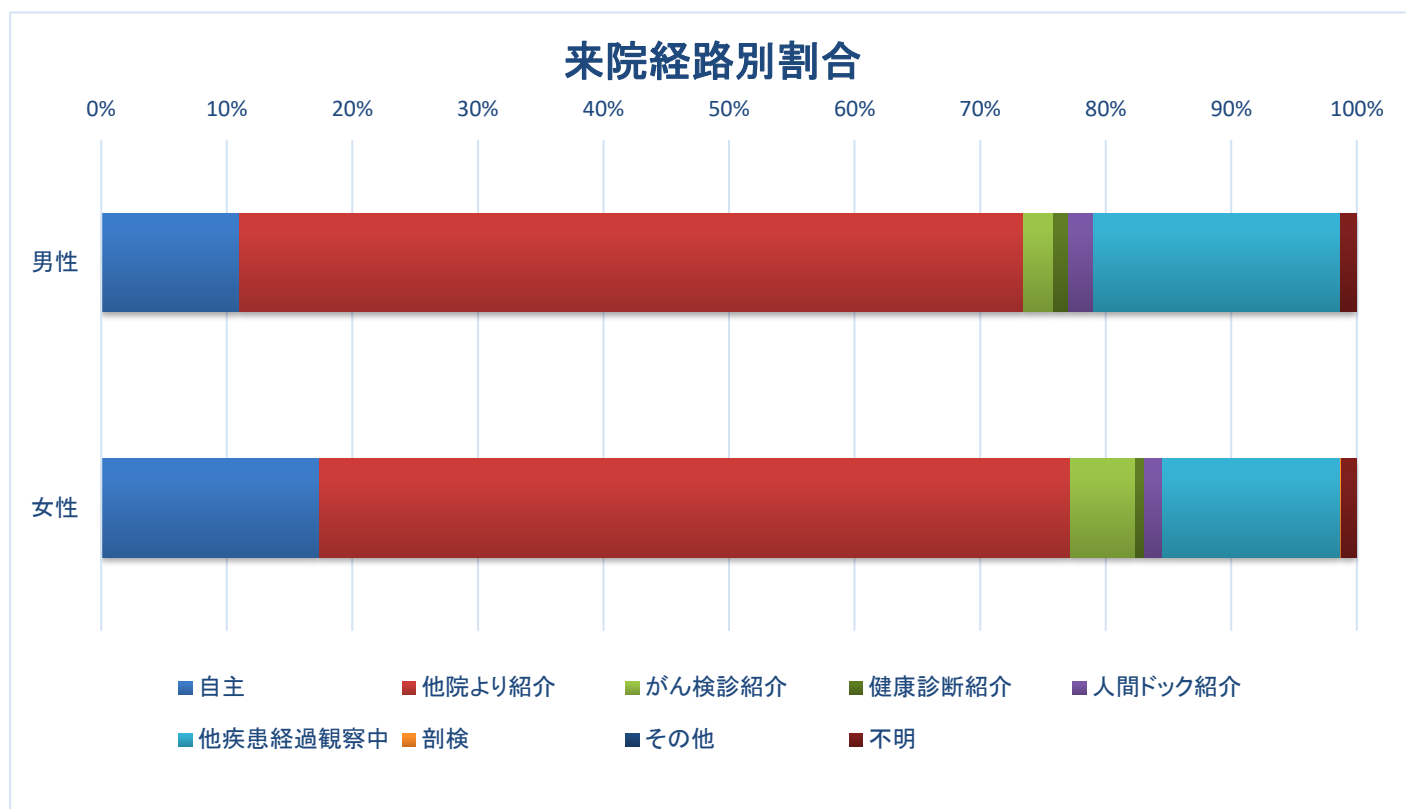


### 3. 来院経路別登録数と割合

診断日:2013年1月1日 ~ 2013年12月31日

来院経路は、多い方から「他院より紹介」が男女とも62%から60%を占め、次いで「他疾患経過観察中」、「自主」の来院は11%から17%で、「がん検診」、「人間ドック」、「健康診断」による来院は少ない。

	自主	他院より紹介	がん検診紹介	健康診断紹介	人間ドック紹介	他疾患経過観察中	剖検	その他	不明	合計
男性	381	2,154	81	42	69	677	0	1	45	3,450
女性	462	1,586	137	18	39	376	1	1	32	2,652
男性	11%	62%	2%	1%	2%	20%	0%	0%	1%	100%
女性	17%	60%	5%	1%	1%	14%	0%	0%	1%	100%

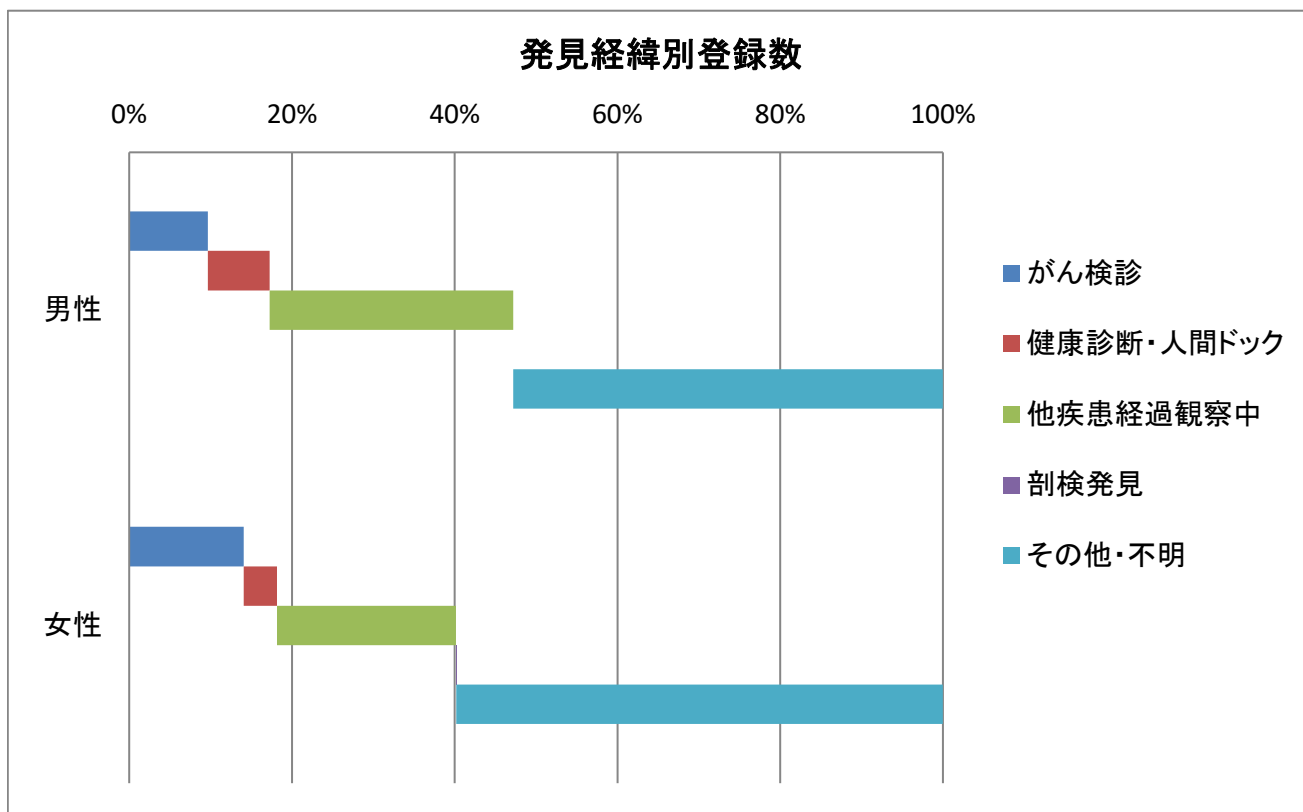


#### 4. 発見経緯別登録数と割合

診断日：2013年1月1日 ～ 2013年12月31日

発見経緯は、「その他・不明」を除くと、多い方から「他疾患経過観察中」が男性30%、女性22%で最も多いが、「がん検診」や「健康診断・人間ドック」によるものはそれぞれ10%前後で少ない。  
 なお、「その他・不明」が半数以上を占めるのを考慮する必要がある。

	がん検診	健康診断・人間ドック	他疾患経過観察中	剖検発見	その他・不明	合計
男性	334	262	1,032	0	1,822	3,450
女性	373	109	583	1	1,586	2,652
男性	10%	8%	30%	0%	53%	100%
女性	14%	4%	22%	0%	60%	100%



## 5. 部位別各種集計結果のまとめ

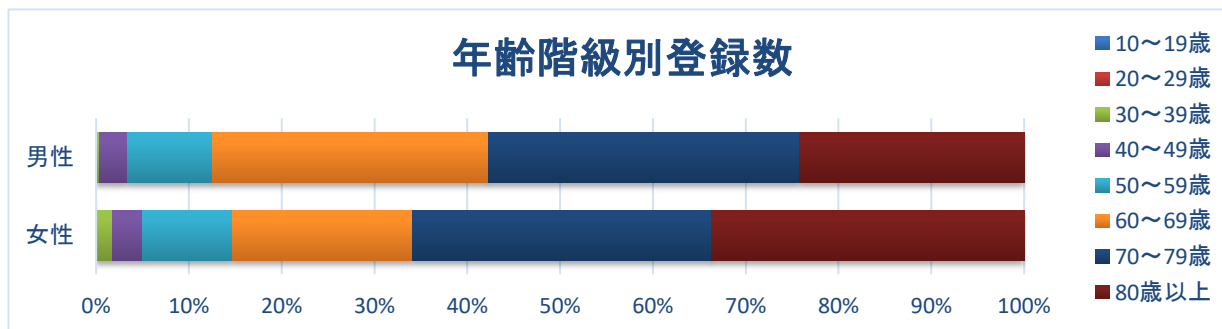
部位： 胃

診断日： 2013/01/01 ~ 2013/12/31

胃がんは、60歳以上が男女とも9割弱を占め、男性では70歳代、女性では80歳以上が最も多い。  
 ステージ別には、I期が62%と6割強を占め、II期、III期は10%、8%と減少、IV期は15%と増加する。  
 ステージ別に治療方法を観察すると、I期では「手術のみ」、「内視鏡のみ」で85%とほとんどを占めるが、II期、III期では「内視鏡のみ」が減少、「手術/内視鏡+薬物療法」が増え、「手術のみ」と合わせると8割強に増加、IV期では、「手術のみ」と、「手術/内視鏡+薬物療法」が減少、「薬物療法のみ」が42%、「治療なし」は28%に増加する。

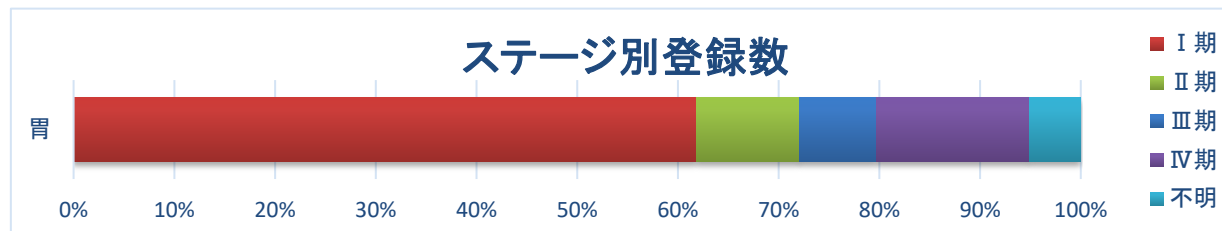
### 1. 年齢階級別登録数

	男性	女性
10～19歳	1	0
20～29歳	0	0
30～39歳	1	5
40～49歳	17	9
50～59歳	52	27
60～69歳	168	54
70～79歳	189	90
80歳以上	137	94
合計	565	279



### 2. ステージ別登録数

	件数	割合
I期	505	62%
II期	84	10%
III期	62	8%
IV期	124	15%
不明	42	5%
合計	817	100%

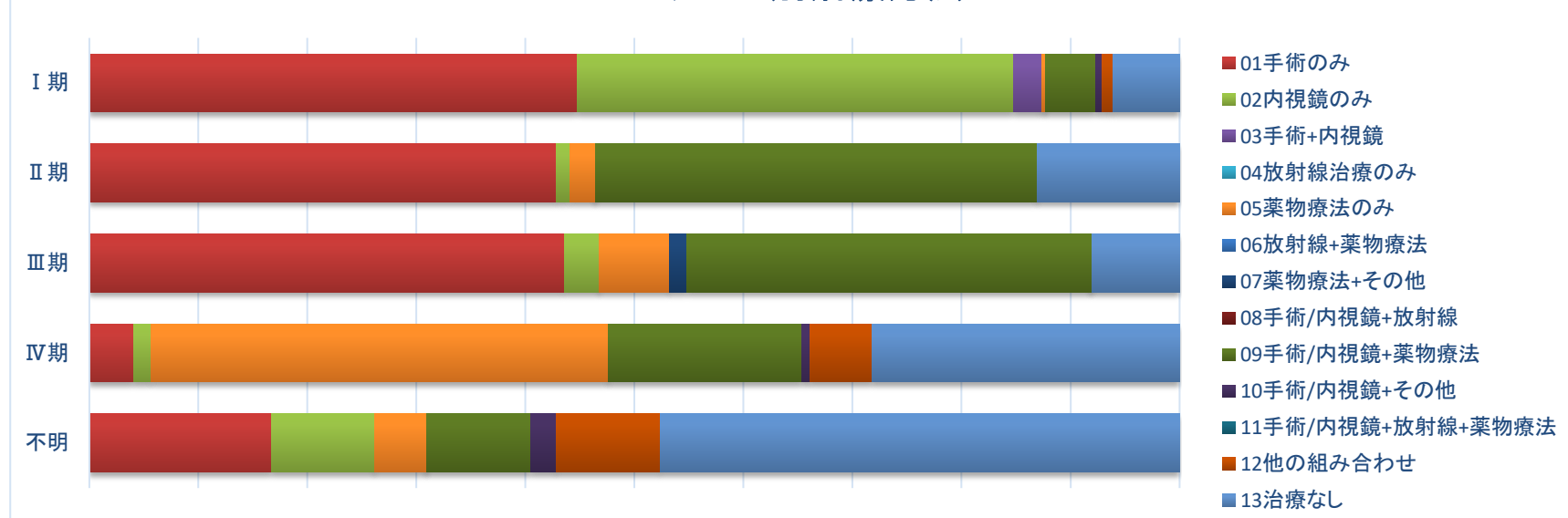


### 3. ステージ別治療方法

註) %は、ステージ毎の治療方法別割合を示す

	I期	II期	III期	IV期	不明	I期	II期	III期	IV期
01手術のみ	226	36	27	5	7	45%	43%	44%	4%
02内視鏡のみ	202	1	2	2	4	40%	1%	3%	2%
03手術+内視鏡	13	0	0	0	0	3%	0%	0%	0%
04放射線治療のみ	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%
05薬物療法のみ	2	2	4	52	2	0%	2%	6%	42%
06放射線+薬物療法	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%
07薬物療法+その他	0	0	1	0	0	0%	0%	2%	0%
08手術/内視鏡+放射線	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%
09手術/内視鏡+薬物療法	23	34	23	22	4	5%	40%	37%	18%
10手術/内視鏡+その他	3	0	0	1	1	1%	0%	0%	1%
11手術/内視鏡+放射線+薬物療法	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%
12他の組み合わせ	5	0	0	7	4	1%	0%	0%	6%
13治療なし	31	11	5	35	20	6%	13%	8%	28%
合計	505	84	62	124	42	100%	100%	100%	100%

### ステージ別治療方法



## 5. 部位別各種集計結果のまとめ

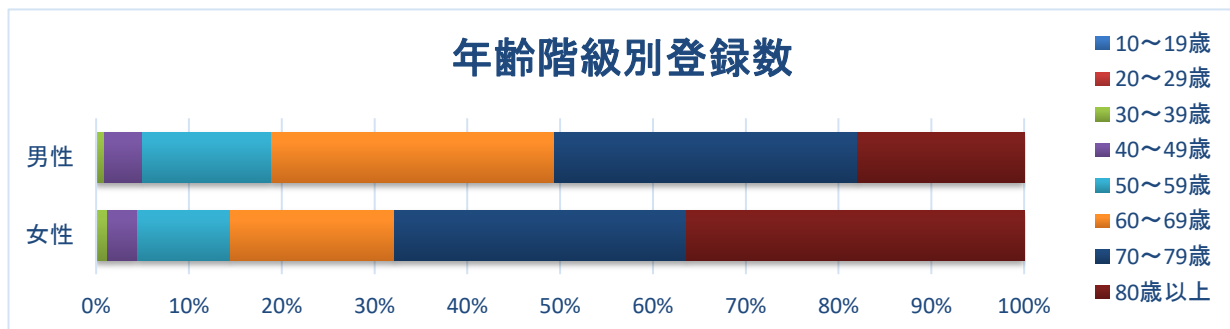
部 位： 大腸

診断日： 2013/01/01 ~ 2013/12/31

大腸がんは、60歳以上が男女とも8割～9割を占め、男性では70歳代が、女性では80歳以上が最も多い。  
 ステージ別には、0期が15%、I期からIV期までは、いずれも23%から17%の範囲で推移し、大きな差異は見られない。  
 ステージ別に治療方法を観察すると、0期では「内視鏡のみ」が85%を占め、「手術のみ」は8%と少ない。I期では「手術のみ」は59%に増加、「内視鏡のみ」は14%に減少し、「手術/内視鏡+薬物療法」が12%を示す。II期、III期では「内視鏡のみ」は0%、1%に減少、「手術のみ」と「手術/内視鏡+薬物療法」を合わせると約9割に増加する。IV期では「手術のみ」は19%にまで減少し、「薬物療法のみ」、「手術/内視鏡+薬物療法」と「治療なし」で7割強を占める。

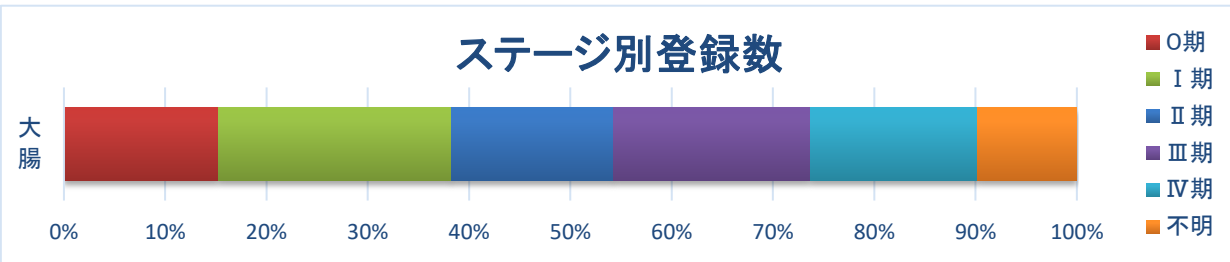
### 1. 年齢階級別登録数

	男性	女性
10～19歳	0	0
20～29歳	0	0
30～39歳	5	5
40～49歳	22	13
50～59歳	75	41
60～69歳	165	72
70～79歳	176	128
80歳以上	97	148
合計	540	407



### 2. ステージ別登録数

	件数	割合
0期	143	15%
I期	216	23%
II期	150	16%
III期	182	19%
IV期	155	17%
不明	92	10%
合計	938	100%

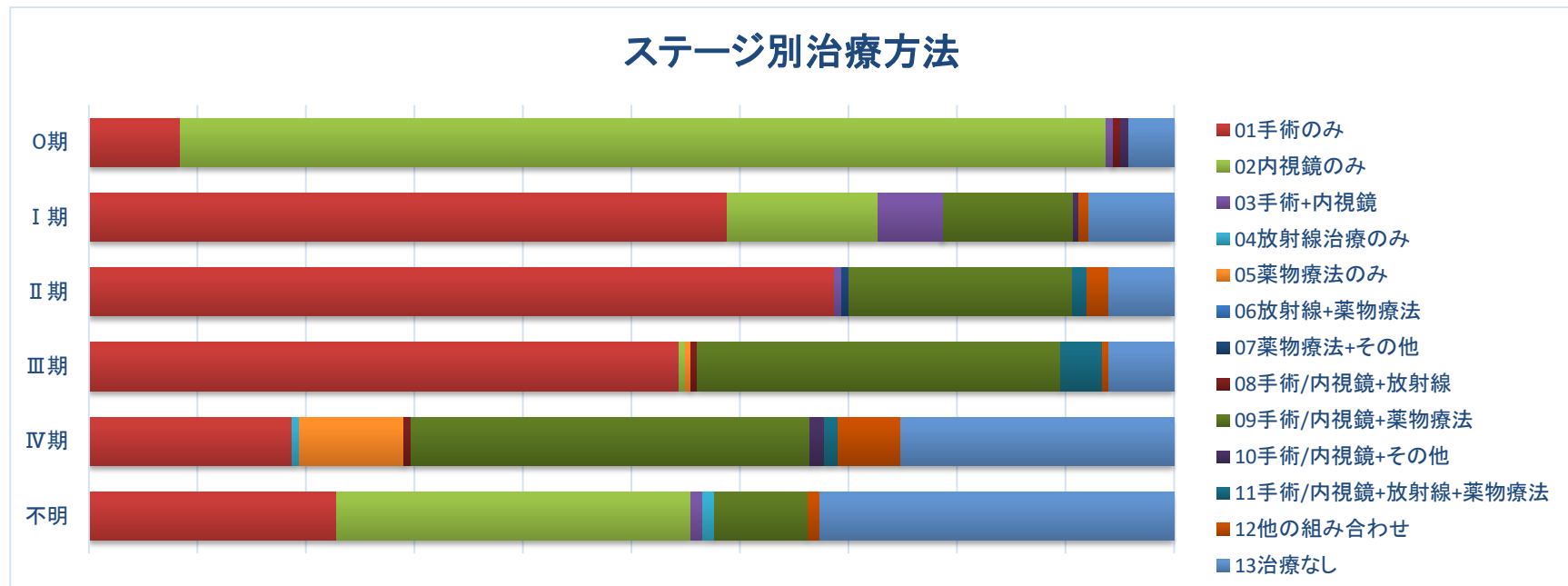


### 3. ステージ別治療方法

註) %は、ステージ毎の治療方法別割合を示す

	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	0期	I期	II期	III期	IV期
01手術のみ	12	127	103	99	29	21	8%	59%	69%	54%	19%
02内視鏡のみ	122	30	0	1	0	30	85%	14%	0%	1%	0%
03手術+内視鏡	1	13	1	0	0	1	1%	6%	1%	0%	0%
04放射線治療のみ	0	0	0	0	1	1	0%	0%	0%	0%	1%
05薬物療法のみ	0	0	0	1	15	0	0%	0%	0%	1%	10%
06放射線+薬物療法	0	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%
07薬物療法+その他	0	0	1	0	0	0	0%	0%	1%	0%	0%
08手術/内視鏡+放射線	1	0	0	1	1	0	1%	0%	0%	1%	1%
09手術/内視鏡+薬物療法	0	26	31	61	57	8	0%	12%	21%	34%	37%
10手術/内視鏡+その他	1	1	0	0	2	0	1%	0%	0%	0%	1%
11手術/内視鏡+放射線+薬物療法	0	0	2	7	2	0	0%	0%	1%	4%	1%
12他の組み合わせ	0	2	3	1	9	1	0%	1%	2%	1%	6%
13治療なし	6	17	9	11	39	30	4%	8%	6%	6%	25%
合計	143	216	150	182	155	92	100%	100%	100%	100%	100%

### ステージ別治療方法



## 5. 部位別各種集計結果のまとめ

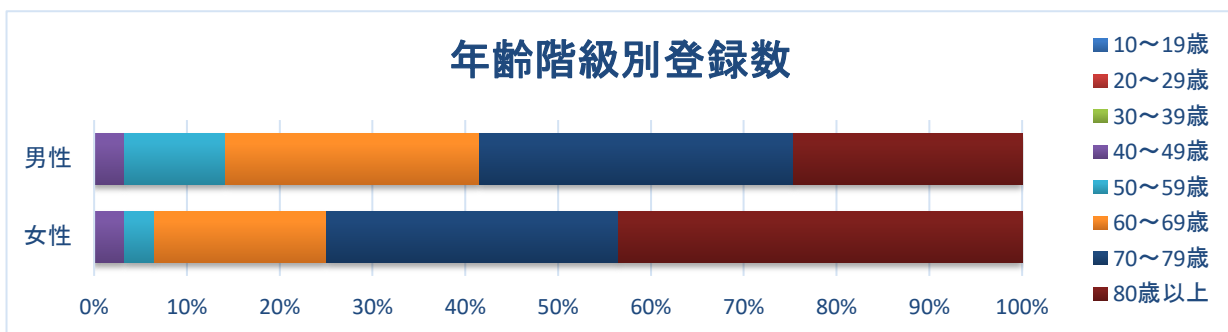
部 位： 肝臓

診断日： 2013/01/01 ~ 2013/12/31

肝臓がんは、男女とも60歳以上が9割前後を占め、男性は70歳代、女性は80歳以上が最も多い。  
 ステージ別には、I期とII期で59%と6割弱を占めるが、III期は14%、IV期は19%と推移する。  
 ステージ別の治療方法を観察すると、I期では「他の組み合わせ」が44%と最も多く、「手術のみ」と「薬物療法+その他」がともに2割台を占める。II期では「薬物療法+その他」が53%と最も多く、「他の組み合わせ」は19%、「手術のみ」は11%に減少する。III期、IV期では「薬物療法+その他」が34%から9%に減少、「治療なし」が42%から53%に増加する。

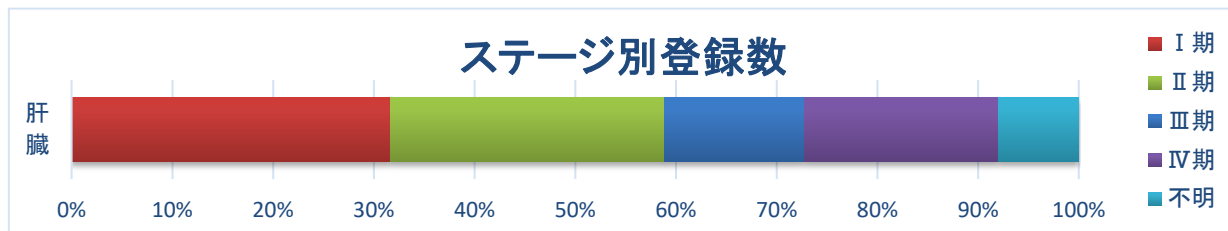
### 1. 年齢階級別登録数

	男性	女性
10～19歳	0	0
20～29歳	0	0
30～39歳	0	0
40～49歳	6	3
50～59歳	20	3
60～69歳	50	17
70～79歳	62	29
80歳以上	45	40
合計	183	92



### 2. ステージ別登録数

	件数	割合
I期	87	32%
II期	75	27%
III期	38	14%
IV期	53	19%
不明	22	8%
合計	275	100%

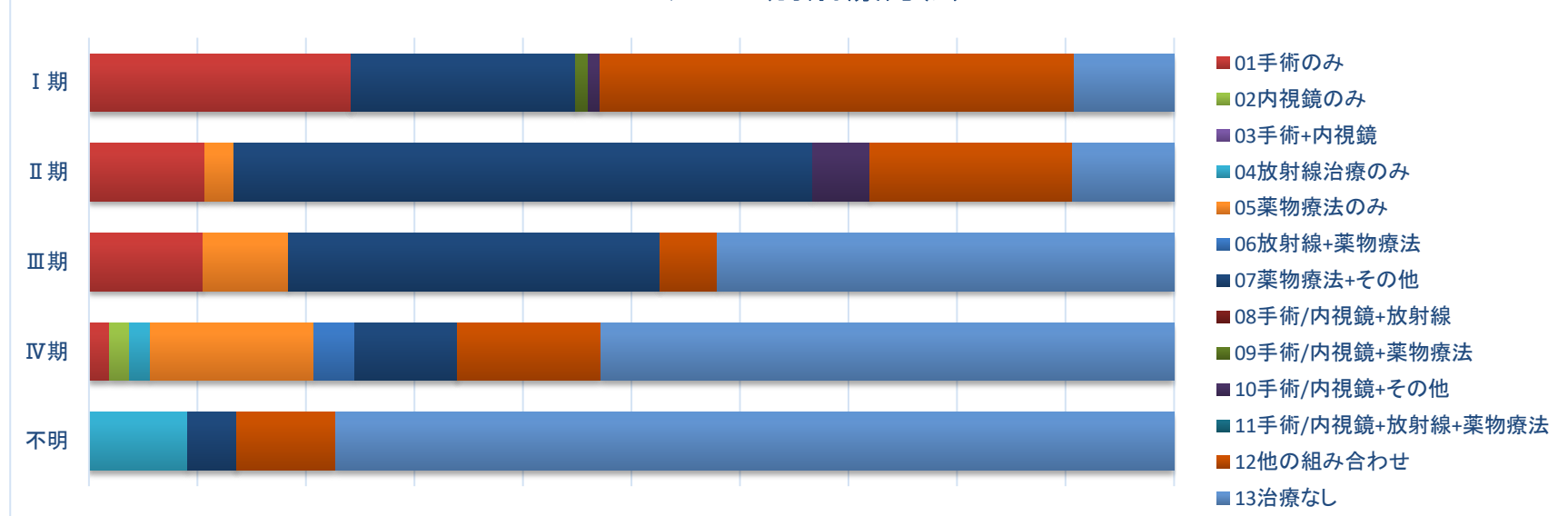


### 3. ステージ別治療方法

註) %は、ステージ毎の治療方法別割合を示す

	I期	II期	III期	IV期	不明	I期	II期	III期	IV期
01手術のみ	21	8	4	1	0	24%	11%	11%	2%
02内視鏡のみ	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	2%
03手術+内視鏡	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%
04放射線治療のみ	0	0	0	1	2	0%	0%	0%	2%
05薬物療法のみ	0	2	3	8	0	0%	3%	8%	15%
06放射線+薬物療法	0	0	0	2	0	0%	0%	0%	4%
07薬物療法+その他	18	40	13	5	1	21%	53%	34%	9%
08手術/内視鏡+放射線	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%
09手術/内視鏡+薬物療法	1	0	0	0	0	1%	0%	0%	0%
10手術/内視鏡+その他	1	4	0	0	0	1%	5%	0%	0%
11手術/内視鏡+放射線+薬物療法	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%
12他の組み合わせ	38	14	2	7	2	44%	19%	5%	13%
13治療なし	8	7	16	28	17	9%	9%	42%	53%
合計	87	75	38	53	22	100%	100%	100%	100%

### ステージ別治療方法





## 5. 部位別各種集計結果のまとめ

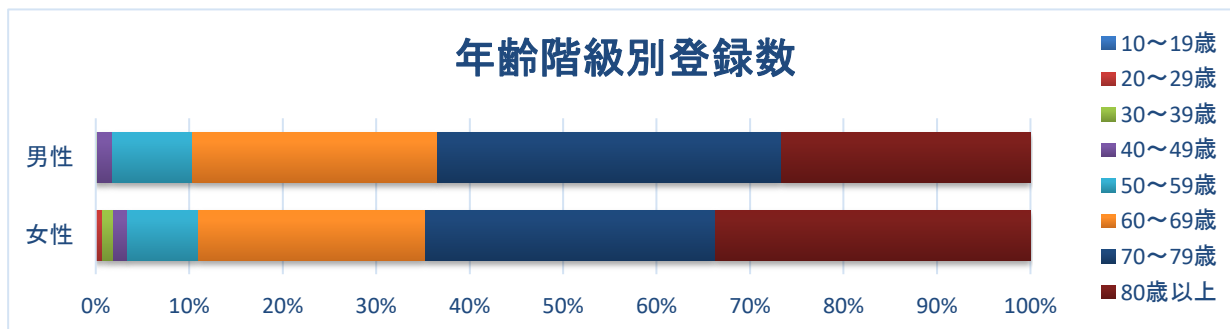
部位：肺

診断日：2013/01/01～2013/12/31

肺がんは、男女とも60歳以上が9割前後を占め、男性では70歳代が、女性では80歳代が最も多い。  
 ステージ別には、I期は37%、IV期は38%と多く、II期は7%、III期は13%と少ない。  
 ステージ別の治療方法を観察すると、I期では「手術のみ」が60%、「手術/内視鏡+薬物療法」が16%、で合わせて8割弱を占める。  
 II期、III期、IV期と進行に伴って、「手術のみ」は減少し、「薬物療法のみ」は、13%から26%、38%に増加、「治療なし」も28%から34%、46%に増加する。

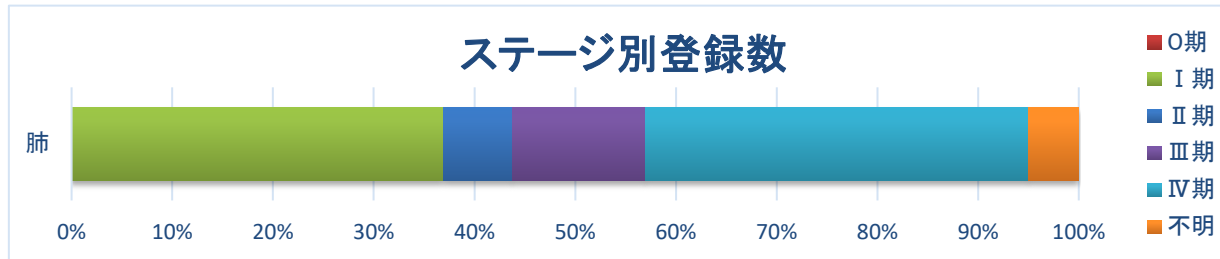
### 1. 年齢階級別登録数

	男性	女性
10～19歳	0	0
20～29歳	0	2
30～39歳	1	3
40～49歳	8	4
50～59歳	43	20
60～69歳	132	64
70～79歳	185	82
80歳以上	134	89
合計	503	264



### 2. ステージ別登録数

	件数	割合
0期	0	0%
I期	283	37%
II期	53	7%
III期	101	13%
IV期	292	38%
不明	38	5%
合計	767	100%

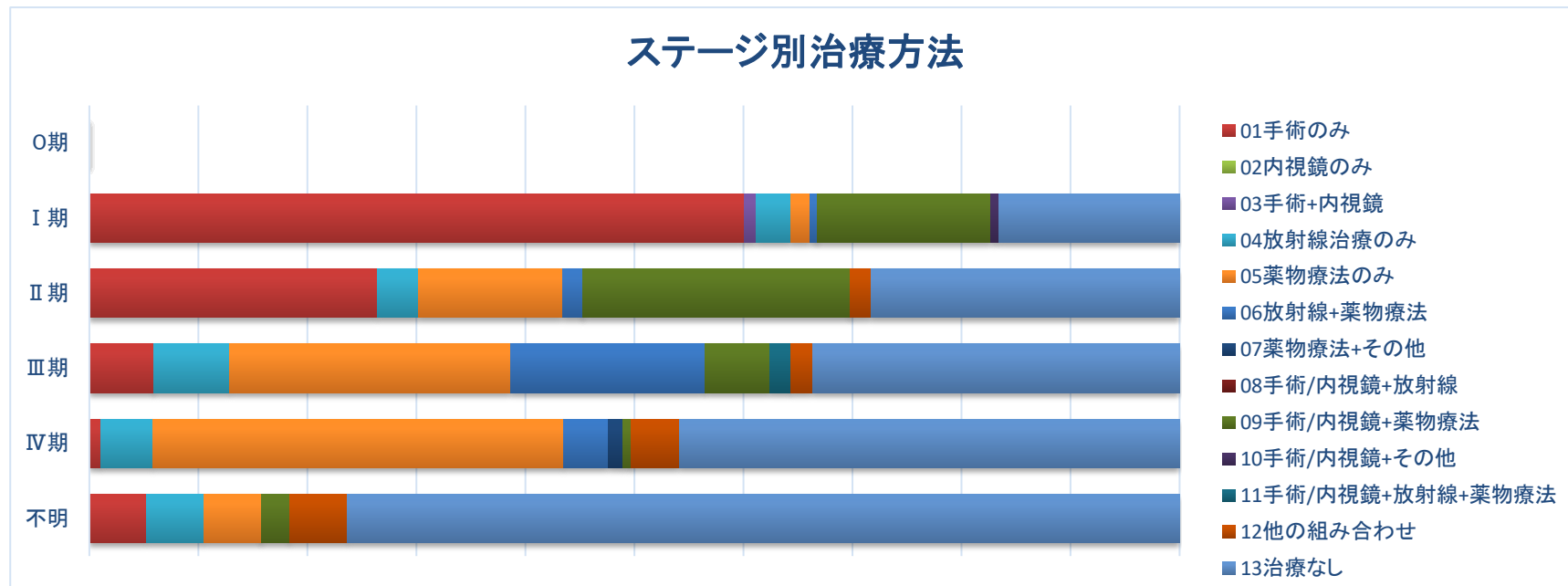


### 3. ステージ別治療方法

註) %は、ステージ毎の治療方法別割合を示す

	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	0期	I期	II期	III期	IV期
01手術のみ	0	170	14	6	3	2	0%	60%	26%	6%	1%
02内視鏡のみ	0	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%
03手術+内視鏡	0	3	0	0	0	0	0%	1%	0%	0%	0%
04放射線治療のみ	0	9	2	7	14	2	0%	3%	4%	7%	5%
05薬物療法のみ	0	5	7	26	110	2	0%	2%	13%	26%	38%
06放射線+薬物療法	0	2	1	18	12	0	0%	1%	2%	18%	4%
07薬物療法+その他	0	0	0	0	4	0	0%	0%	0%	0%	1%
08手術/内視鏡+放射線	0	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%
09手術/内視鏡+薬物療法	0	45	13	6	2	1	0%	16%	25%	6%	1%
10手術/内視鏡+その他	0	2	0	0	0	0	0%	1%	0%	0%	0%
11手術/内視鏡+放射線+薬物療法	0	0	0	2	0	0	0%	0%	0%	2%	0%
12他の組み合わせ	0	0	1	2	13	2	0%	0%	2%	2%	4%
13治療なし	0	47	15	34	134	29	0%	17%	28%	34%	46%
合計	0	283	53	101	292	38	100%	100%	100%	100%	100%

### ステージ別治療方法



## 5. 部位別各種集計結果のまとめ

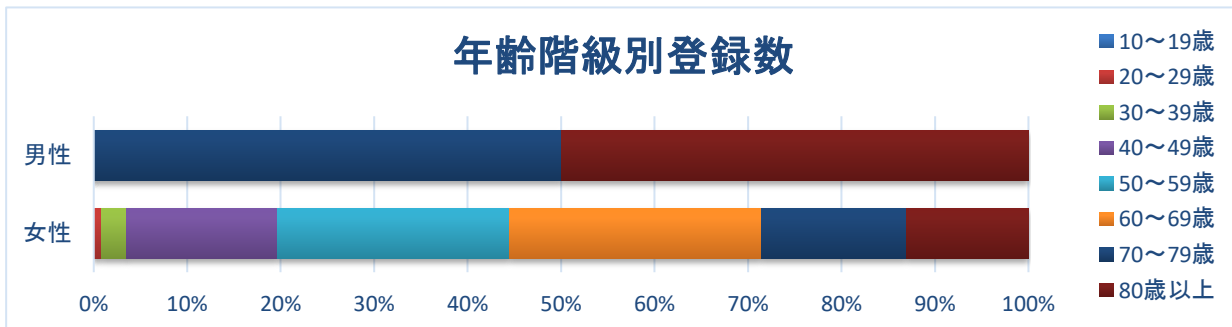
部 位： 乳房

診断日： 2013/01/01 ~ 2013/12/31

乳がんは、男性は、70歳代、80歳代の2名で、女性は、50歳代から60歳代の範囲でピークがあり、60歳代が最も多い。  
 ステージ別には、0期は8%、I期とII期で71%と大半を占め、III期とIV期は9%、5%と少ない。  
 ステージ別の治療方法を観察すると、すべてのステージで「手術のみ」(0期以外)と「治療なし」(IV期以外)はともに4%から16%で少ない。0期では「手術/内視鏡+薬物療法」が32%で最も多く、「手術のみ」は29%、「手術/内視鏡+放射線+薬物療法」は24%と多様である。I期、II期、III期では「手術/内視鏡+薬物療法」が24%、40%、28%、「手術/内視鏡+放射線+薬物療法」が43%、30%、33%で推移、それぞれを併せると7割前後を占める。IV期では「薬物療法のみ」が42%に増加、「手術/内視鏡+放射線+薬物療法」は4%に激減、「治療なし」は29%に増加する。

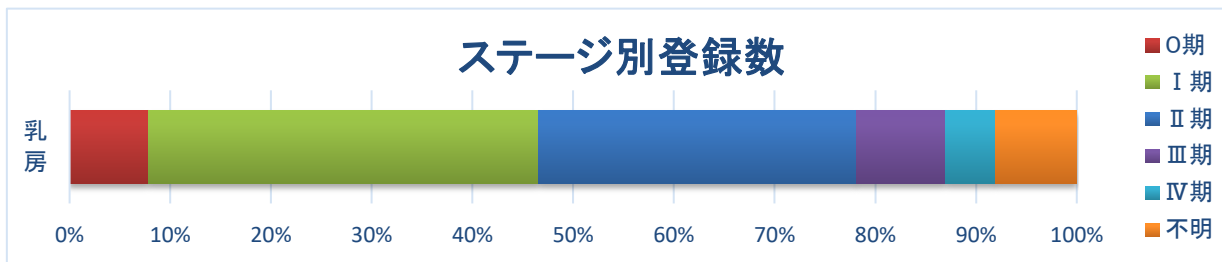
### 1. 年齢階級別登録数

	男性	女性
10~19歳	0	0
20~29歳	0	4
30~39歳	0	13
40~49歳	0	78
50~59歳	0	120
60~69歳	0	130
70~79歳	1	75
80歳以上	1	63
合計	2	483



### 2. ステージ別登録数

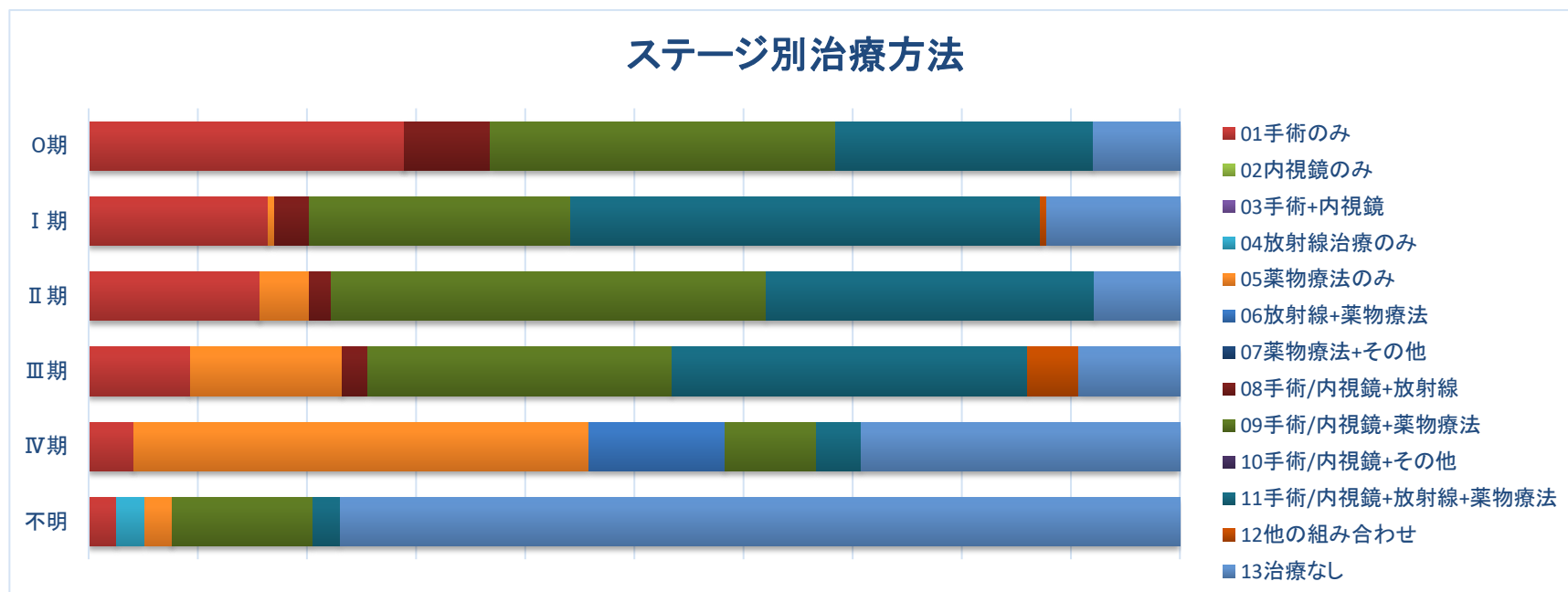
	件数	割合
0期	38	8%
I期	188	39%
II期	153	32%
III期	43	9%
IV期	24	5%
不明	39	8%
合計	485	100%



### 3. ステージ別治療方法

註) %は、ステージ毎の治療方法別割合を示す

	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	0期	I期	II期	III期	IV期
01手術のみ	11	31	24	4	1	1	29%	16%	16%	9%	4%
02内視鏡のみ	0	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%
03手術+内視鏡	0	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%
04放射線治療のみ	0	0	0	0	0	1	0%	0%	0%	0%	0%
05薬物療法のみ	0	1	7	6	10	1	0%	1%	5%	14%	42%
06放射線+薬物療法	0	0	0	0	3	0	0%	0%	0%	0%	13%
07薬物療法+その他	0	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%
08手術/内視鏡+放射線	3	6	3	1	0	0	8%	3%	2%	2%	0%
09手術/内視鏡+薬物療法	12	45	61	12	2	5	32%	24%	40%	28%	8%
10手術/内視鏡+その他	0	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%
11手術/内視鏡+放射線+薬物療法	9	81	46	14	1	1	24%	43%	30%	33%	4%
12他の組み合わせ	0	1	0	2	0	0	0%	1%	0%	5%	0%
13治療なし	3	23	12	4	7	30	8%	12%	8%	9%	29%
合計	38	188	153	43	24	39	100%	100%	100%	100%	100%





## 5. 部位別各種集計結果のまとめ

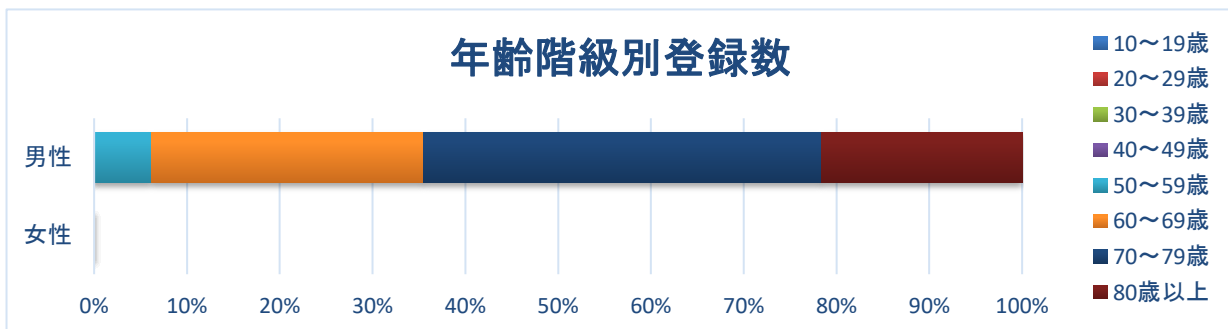
部 位: 前立腺

診断日: 2013/01/01 ~ 2013/12/31

前立腺がんは、60歳以上がほとんどで94%を占め、70歳代が最も多い。  
 ステージ別には、I期とII期がともに40%、24%と多く、III期は13%で、IV期は17%と少なくなる。  
 ステージ別の治療方法を観察すると、I期、II期では「手術のみ」、「薬物療法のみ」と「治療なし」がともに19%から32%の範囲で推移し、これらを合わせると8割弱を占める。III期、IV期では「薬物療法のみ」が47%から78%、「放射線+薬物療法」が22%から4%で推移し、それぞれを合わせると7割前後を占め、「治療なし」は13%から12%に減少する。

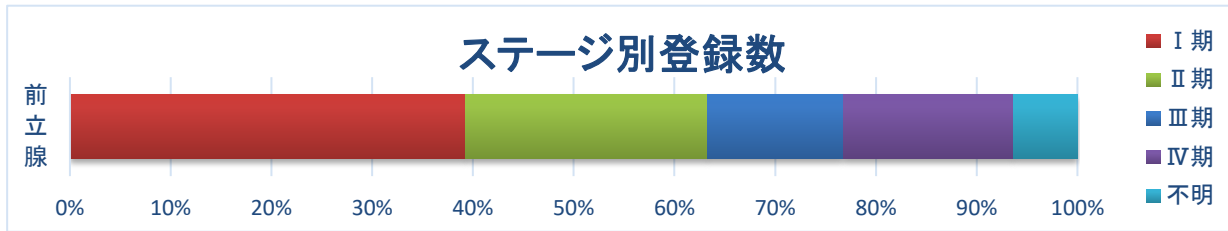
### 1. 年齢階級別登録数

	男性	女性
10～19歳	0	0
20～29歳	0	0
30～39歳	0	0
40～49歳	0	0
50～59歳	31	0
60～69歳	148	0
70～79歳	216	0
80歳以上	109	0
合計	504	0



### 2. ステージ別登録数

	件数	割合
I期	198	39%
II期	121	24%
III期	68	13%
IV期	85	17%
不明	32	6%
合計	504	100%



### 3. ステージ別治療方法

註) %は、ステージ毎の治療方法別割合を示す

	I期	II期	III期	IV期	不明	I期	II期	III期	IV期
01手術のみ	50	33	8	2	1	25%	27%	12%	2%
02内視鏡のみ	2	0	0	0	2	1%	0%	0%	0%
03手術+内視鏡	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%
04放射線治療のみ	20	7	0	0	0	10%	6%	0%	0%
05薬物療法のみ	47	39	32	66	3	24%	32%	47%	78%
06放射線+薬物療法	11	14	15	3	0	6%	12%	22%	4%
07薬物療法+その他	1	0	0	0	0	1%	0%	0%	0%
08手術/内視鏡+放射線	1	1	0	0	0	1%	1%	0%	0%
09手術/内視鏡+薬物療法	7	4	4	3	0	4%	3%	6%	4%
10手術/内視鏡+その他	1	0	0	0	0	1%	0%	0%	0%
11手術/内視鏡+放射線+薬物療法	1	0	0	0	1	1%	0%	0%	0%
12他の組み合わせ	4	0	0	1	2	2%	0%	0%	1%
13治療なし	53	23	9	10	23	27%	19%	13%	12%
合計	198	121	68	85	32	100%	100%	100%	100%

### ステージ別治療方法 (Stage-specific Treatment Methods)

